

2019 年 11 月 19 日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

トヨタが提供するスマートフォン向け決済アプリ「TOYOTA Wallet」の 決済方法に「銀行 Pay」が採用

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証一部：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）が基盤システムを提供する「銀行 Pay」は、トヨタ自動車株式会社（代表取締役社長：豊田 章男）・トヨタファイナンスサービス株式会社（代表取締役社長：福留 朗裕）・トヨタファイナンス株式会社（代表取締役社長：西 利之）の 3 社（以下、トヨタ）が本日 2019 年 11 月 19 日（火）より展開する、複数の支払い手段を搭載するスマートフォン決済アプリ「TOYOTA Wallet」の決済方法に採用されました。



【背景と概要】

トヨタでは、スマートフォンとモバイルネットワークはコネクティッド戦略を実現する中核技術として重要な役割を果たしていくという考えのもと、消費者の日常決済の利便性向上及びモビリティ社会の基盤づくりへの貢献を目指し、決済アプリ「TOYOTA Wallet」の提供を開始しました。

「TOYOTA Wallet」は複数の支払い手段を搭載するスマートフォン決済アプリで、決済方法の一つとして、GMO-PG が基盤システムを提供する「銀行 Pay」が採用されました。

「TOYOTA Wallet」への「銀行 Pay」搭載は、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）が展開する、「銀行 Pay」の基盤システムを活用した「事業者型 Pay^(※1)」の利用により実現しています。そのため、「銀行 Pay」のマルチバンク決済機能（銀行間の相互乗り入れ）により、「TOYOTA Wallet」で「銀行 Pay」の支払いを選択するユーザーは、マルチバンク対応の「銀行 Pay」加盟店で順次ご利用可能となる予定です。

（※1）事業者が提供するスマホ向け会員アプリ等において、「銀行 Pay」機能を組み込み、事業者がユーザーに決済機能を搭載できるサービス。

【「TOYOTA Wallet」について】

「TOYOTA Wallet」は、プリペイド型電子マネー「TOYOTA Wallet 残高」、クレジット型サービス「TOYOTA TS CUBIC Origami Pay」、デビット型サービス「銀行 Pay」という 3 つの支払い手段を搭載した、スマートフォン決済アプリです。「TOYOTA Wallet」利用者は、用途に合わせて自由に決済手段を選ぶことが可能です。

【「銀行 Pay」について】（URL：<https://www.gmo-pg.com/service/ginkopay/>）

GMO-PG が基盤システムを提供する「銀行 Pay」は、2016 年に横浜銀行と共同で開発^(※2)した、スマホアプリから即時に銀行口座の引き落とし等による支払いができるサービスです。金融機関は、「銀行 Pay」の基盤システムを活用した独自のスマホ決済サービスとして展開できるだけでなく、導入銀行間の相互連携を可能にするマルチバンク決済機能（銀行間の相互乗り入れ）により、銀行や地域を越えて利用できるサービスとして提供することが可能です。

「銀行 Pay」を導入している銀行に口座を持つ利用者は、利用者向けスマホアプリをダウンロードし、自分の口座を事前に登録しておくことで、加盟店でのお買い物の際、加盟店のタブレット端末やスマホに表示された QR コードを読み取る MPM（Merchant Presented Mode）方式か、利用者のスマホに表示された QR コードやバーコードを加盟店の QR コード・バーコードリーダーで読み取る CPM（Consumer Presented Mode）方式により、銀行口座から代金が引き落としされ、支払いが完了いたします^(※3)。

（※2）参考：2016 年 10 月 5 日発表「国内銀行初、横浜銀行の口座と連動したスマホ決済サービスを共同開発」

（URL：<https://corp.gmo-pg.com/newsroom/press/gmo-paymentgateway/2016/1005.html>）

（※3）対応する支払い時の読み取り方法は、各銀行のスマホアプリにより異なります。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

GMO-PG は、ネットショップなどのオンライン事業者、NHK、国税庁や東京都等の公的機関など 10 万店舗以上の加盟店に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供しています。決済サービスを中心に、加盟店の成長に資する付加価値サービスを提供し、年間決済処理金額は 4 兆円を超えています。（GMO-PG 連結企業群 2019 年 9 月末現在）

決済業界のリーディングカンパニーとして、日本のキャッシュレス化に貢献するべく、金融機関向けのソリューション提供、後払い決済・レンディングといった Fintech サービスの提供、IoT をはじめとする対面分野での決済事業など事業領域を拡大しています。また、海外での決済・金融関連サービスの提供、海外企業との資本業務提携などグローバル展開も進めています。

GMO-PG は、今後も新たなイノベーションを牽引し、安全性が高く便利な決済プロセスのインフラになることを目指してまいります。

【関連 URL】

- ・GMO-PG コーポレートサイト URL：<https://corp.gmo-pg.com/>
- ・GMO-PG サービスサイト URL：<https://www.gmo-pg.com/>

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略 統括本部
TEL：03-3464-0182 FAX：03-3464-2387
E-mail：pr@gmo-pg.com
- GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 石井
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
イノベーション・パートナーズ本部
戦略事業統括部 スマートペイ事業部
TEL：03-3464-2323 FAX：03-3464-2477
E-mail：info@gmo-pg.com

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】（URL： <https://corp.gmo-pg.com/> ）

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 （東証第一部 証券コード：3769）
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 ヒューマックス渋谷ビル
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	47 億 12 百万円

【GMO インターネット株式会社】（URL： <https://www.gmo.jp/> ）

会 社 名	GMO インターネット株式会社 （東証第一部 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資 本 金	50 億円

※QRコードの商標は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Copyright (C) 2019 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.